

2018年2月15日
株式会社東陽テクニカ

**「第14回 スマートエネルギーWeek 2018」に出展
～二次電池・燃料電池の開発を支える最先端技術を紹介、
展示ブースでは中国語にも対応～**

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝）は、「第14回 スマートエネルギーWeek 2018」（会期：2018年2月28日（水）～3月2日（金）、会場：東京ビッグサイト）の2つの構成展にブースを出展し、二次電池・燃料電池の開発を支える最先端の製品を紹介いたします。

「第9回 国際二次電池展 ～バッテリージャパン～」(ブース番号：W13-2)では、主に二次電池の単セルからスタックセルまでに対応する幅広いラインアップを取り揃えた充放電システムや電池材料（電解質や電極など）の研究・開発に必要な電気化学測定システムを、「第14回 国際水素・燃料電池展 ～FC EXPO 2018～」(ブース番号：W20-32)では、燃料電池のセル性能評価や材料の特性評価に最適な計測システムなどを展示・紹介いたします。

どちらの構成展も、中国現地法人・東陽精測系統(上海)有限公司（所在地：中国・上海）と共同出展いたします。東陽テクニカは、中国市場においても二次電池・燃料電池の計測システムの販売に力を入れており、今回の出展においても、それぞれのブースに中国語パネルを設置し、中国語圏のお客様にも対応いたします。

【展示会のみどころ】

「第9回 国際二次電池展 ～バッテリージャパン～」

リチウムイオンバッテリーに代表される二次電池の評価に最適な最先端の電池評価システムを紹介いたします。

50ppmで5桁オーダーのクーロン効率測定により高確度での充放電試験を可能にする、カナダNovonix社製・超高精度クーロメトリ「UHPCシリーズ」は、充放電測定の初期段階でクーロン効率のわずかな差異を見分けることができ、電池の性能評価・寿命予測を短時間で行うことができます。

また、現在注目されている全固体二次電池の核となる固体電解質の評価用として、東陽テクニカが自社開発した、100MHzまで測定可能な「高周波インピーダンス測定システム」も展示。インピーダンス測定と温度調節が自動で制御できます。



**＜東陽テクニカブースイメージ
(ブース番号：W13-2、W20-32)＞**

<主な展示製品>

- 充放電システム
 - ・超高精度クーロメトリー「UHPCシリーズ」(Novonix社)
 - ・高性能モジュール式充放電システム「BCS-8XXシリーズ」(Bio-Logic Science Instruments社)
 - ・高性能充放電システム「580/585シリーズ」(Scribner Associates社)
 - ・モジュール・パック電池用大容量充放電システム「シリーズ8500」(Maccor社)
 - ・自己放電評価システム「BT2191A/BT2152Aシリーズ」(Keysight Technologies社)
- 電気化学測定システム
 - ・「SP/VSP/VMPシリーズ」(Bio-Logic Science Instruments社)
- インピーダンスアナライザ
 - ・「高周波インピーダンス測定システム」(自社開発)

「第14回 国際水素・燃料電池展 ～FC EXPO 2018～」

PEFC（固体高分子形燃料電池）およびSOFC（固体酸化物形燃料電池）の発電評価ができる燃料電池評価システムや燃料電池用セルや部材など、燃料電池の評価に関する計測ソリューション・製品を紹介します。

自社開発の燃料電池評価システムは、発電条件となるガスの流量・温度・加湿と電気計測が連動でき、全自動評価試験が可能なシステムも構築することが可能です。

<主な展示製品>

- 燃料電池評価システム
 - ・「PEMTest8900シリーズ」(自社開発)
- SOFCボタンセル用ホルダシステム
 - ・アドバンス型ホルダシステム「SL-2」(自社開発)
- PEFC用セル/部材 (ElectroChem社)
- SOFC用セル/部材 (Nexceris社)

【ブース概要】

★「第14回 スマートエネルギーWeek 2018」の2構成展に2ブース出展します。

■ 出展期間：2018年2月28日（水）～3月2日（金）

■ 場所：東京ビッグサイト 西ホール

■ ブース番号：

「第9回 国際二次電池展 ～バッテリージャパン～」：W13-2

主催者公式サイト：<http://www.batteryjapan.jp/>

「第14回 国際水素・燃料電池展 ～FC EXPO 2018～」：W20-32

主催者公式サイト：<http://www.fcexpo.jp/>

<株式会社東陽テクニカについて>

当社は1953年の創立以来、世界最高水準の“はかる”技術の提供をコアコンピタンスとし、最先端の測定機器の輸入販売と自社開発製品の提供によって、官公庁、大学ならびに企業の研究開発を支援してきました。技術分野は、情報通信、自動車計測技術、環境エネルギー、EMC（電磁波障害）試験、海洋調査、ソフトウェア開発支援、メディカルなど幅広く、米国や中国の現地法人などを通じて世界にも提供しています。

また、2016～2017年にかけて新しい3組織「セキュリティ&ラボカンパニー」「技術研究所」「ワン・テクノロジー・カンパニー」を設立。サイバーセキュリティサービスの提供、自動運転車の開発支援、AI（人工知能）を使ったデータ解析など、新しいソリューションの創造に取り組んでいます。

東陽テクニカは「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、これからも産業界の発展と安全で環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

<東揚精測系統(上海)有限公司について>

東揚精測系統(上海)有限公司は、2010年に中国に設立された東陽テクニカの現地法人です。上海および北京を拠点に、当社が長年蓄積したノウハウと技術力を活かした自社開発のEMC、燃料電池、バッテリー、液晶、情報通信などの試験・計測ソリューションを中国のお客様に提供しています。

東揚精測系統(上海)有限公司 Webサイト：<http://www.toyochina.com.cn/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 理化学計測部

TEL：03-3245-1103（直通）

E-mail：keisoku@toyo.co.jp

「スマートエネルギーWeek 2018 出展のお知らせ」：

https://www.toyo.co.jp/material/seminar/detail/smart-energy_2018

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。